

運用報告書（全体版）

第4期

（決算日：2024年2月26日）

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2030年2月25日(月)まで(設定日：2020年3月24日(火))	
運用方針	SBI中国テクノロジー株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド(ベビーファンド)	SBI中国テクノロジー株・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	中国の上海、深セン証券取引所に上場されている人民幣建て株式(中国A株)等を主要投資対象とします。
組入制限	当ファンド(ベビーファンド)	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 投資信託証券(マザーファンド受益証券及び上場投資信託証券を除きます。)への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	年1回(2月25日。ただし、休業日の場合は翌営業日。)決算時に分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により分配を行わないことがあります。 なお、収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

SBI中国テクノロジー株 ファンド

追加型投信／海外／株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「SBI中国テクノロジー株ファンド」は、2024年2月26日に第4期決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiam.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			株式組入比率	純資産額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率		
(設定日) 2020年3月24日	円 10,000	円 —	% —	% —	百万円 392
1期(2021年2月25日)	12,182	0	21.8	89.6	819
2期(2022年2月25日)	12,268	0	0.7	93.3	651
3期(2023年2月27日)	10,409	0	△15.2	94.0	509
4期(2024年2月26日)	8,566	0	△17.7	92.6	341

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しています。

(注3) 当ファンドは、SBI中国テクノロジー株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、中国の上海、深セン証券取引所に上場されている人民元建て株式(中国A株)等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式組入比率
		騰落率	
(期首) 2023年2月27日	円 10,409	% —	% 94.0
2月末	10,376	△0.3	93.9
3月末	10,843	4.2	91.7
4月末	10,076	△3.2	95.7
5月末	10,299	△1.1	97.0
6月末	10,653	2.3	95.3
7月末	10,290	△1.1	96.0
8月末	9,812	△5.7	98.4
9月末	9,402	△9.7	91.9
10月末	8,846	△15.0	91.8
11月末	8,749	△15.9	92.6
12月末	8,461	△18.7	96.0
2024年1月末	7,753	△25.5	91.9
(期末) 2024年2月26日	8,566	△17.7	92.6

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは、SBI中国テクノロジー株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、中国の上海、深セン証券取引所に上場されている人民元建て株式(中国A株)等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2023年2月28日から2024年2月26日まで）

○基準価額等の推移



期首：10,409円
期末：8,566円（既払分配金（税込み）：0円）
騰落率：△17.7%

(注1) 当ファンドは、SBI中国テクノロジー株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、中国の上海、深セン証券取引所に上場されている人民元建て株式（中国A株）等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

【基準価額の上昇要因】

- ・ 中国政府による景気刺激策への期待及び中国人民銀行による金融緩和政策
- ・ 「国家隊」によるETF買い増しや空売り禁止措置
- ・ 通期での人民元高円安

【基準価額の下落要因】

- ・ 消費者物価指数（CPI）の連続マイナス、小売売上高が市場予想を下回るなど、経済指標の悪化
- ・ 米中関係の緊張と米国の中国企業、特にハイテク企業に対する規制強化
- ・ 中国恒大集団の破産申請など、中国不動産業界を巡る信用不安
- ・ 米金利高止まりの長期化懸念

○投資環境

当期の中国株式市場は、下落しました。期初、中国恒大集団が米裁判所に破産法適用を申請したことや、バイデン米大統領が半導体・AIなどの対中投資制限行政命令を発表するとの報道から、軟調なスタートとなりました。2023年9月に入り、製造業PMIが市場予想を上回ったこと、住宅ローン規制の緩和などから政策期待が膨らみ、地合いは改善しましたが、上値では利益確定売りがみられるなど横ばいの動きが続きました。20日に、経済協力開発機構（OECD）やアジア開発銀行（ADB）が中国の経済成長見通しを引き下げたことで、景気先行不安が強まり、その後、中東情勢の緊迫化、市場予想を下回る消費者物価指数（CPI）、70都市平均不動産価格の予想以上の下落などの悪材料から、10月中旬まで下落が続く展開となりました。下旬からは、政府系ファンド「国家隊」が株式を購入したとの報道や、中国国債発行によるインフラ整備計画が中国政府から発表されたことなどから上昇に転じ、11月に入っても、米中首脳会談開催への期待や米金利低下、月央に発表された鉱工業生産や小売売上高などの主要統計が上振れたこと、また、悪い経済指標が発表されると、それに対応する政策への期待がみられ、ゆるやかに上昇し、11月は4か月ぶりに上昇となりました。12月は、人民銀行が公開市場操作を通じて大規模な資金を市中から吸収したことが嫌気され、その後も、米格付け会社ムーディーズの格付け見通しの引き下げ、中東情勢の悪化、小売売上高が市場予想を下回ったことなどから国内景気の先行き不安が高まっていました。2024年1月には、CPIが3ヶ月連続でマイナスとなったほか、新築住宅価格が前月比で大きく下落し、中国資産運用大手の中植企業集団の破産申請、米国で新薬開発における中国系開発会社の利用禁止、トランプ前大統領の中国製品への大幅な関税課税発言、中国AI関連企業による米国クラウドサービスの利用禁止など悪材料が続き、2月初旬に上海総合指数で、当期間最安値をつけるまで大幅な下落となりました。その後、当局による空売り禁止措置の強化、「国家隊」によるETF買い増しの発表など、政府総動員の株価支援を受け反発し、今期を終えました。

当期の為替相場に関しては、米国国債利回り上昇により対ドルで人民元安が10月末ごろまで続きましたが、その後は米国国債利回りが下落に転じ人民元は反発しました。対円では、12月にムーディーズの中国格下げに始まる悪材料から株価下落した時期に人民元安となりましたが、期を通しては概ね人民元高円安となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

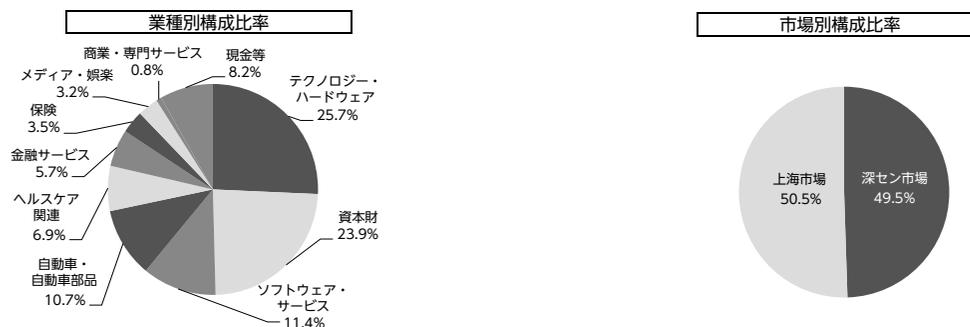
<当ファンド>

主要投資対象であるSBI中国テクノロジー株・マザーファンド受益証券を高位に組入れ、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

<SBI中国テクノロジー株・マザーファンド>

上海証券取引所及び深セン証券取引所、創業板上場している銘柄のうち、革新的なテクノロジーやサービスを提供する銘柄に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。当期は、テクノロジー・ハードウェアおよび機器、資本財、自動車・自動車部品関連企業へのシフトならびに銘柄入れ替えを順次行い、また、ソフトウェア・サービスの比率を下げました。銘柄数は、30銘柄前後を維持しました。銘柄別のリターン寄与度では、ESTUN AUTOMATION CO がプラスに大きく寄与した一方で、南京埃斯頓自動化、中興通訊[ZTE]が大きくマイナスに寄与しました。

なお、決算日時点のポートフォリオについては以下の通りとなっております。



※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※記載の比率は、四捨五入の関係で100%にならない場合があります。

※比率は、マザーファンドの組入株式評価額合計に対する割合です。
※記載の比率は、四捨五入の関係で100%にならない場合があります。

当期末の為替レート

通貨	レート	期首比
	円	%
人民元 (オフショア)	20.86	+6.8

※為替レートは、一般社団法人投資信託協会が発表する対顧客電信売買相場仲値を採用しています。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、SBI中国テクノロジー株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、中国の上海、深セン証券取引所に上場されている人民元建て株式（中国A株）等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

○分配金

当期は、当ファンドの収益分配方針に基づき、収益分配可能額を算出し、市況動向や基準価額等を考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第4期
	2023年2月28日～ 2024年2月26日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,023

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の見通しと運用方針

<当ファンド>

引き続き、SBI中国テクノロジー株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、中国の上海、深セン証券取引所に上場されている人民元建て株式(中国A株)等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。

<SBI中国テクノロジー株・マザーファンド>

当期、①米国をはじめ主要国のインフレ抑制のための利上げと各国長期金利の上昇、②米政府による中国企業への規制強化の継続、④経済指標の悪化、③中国不動産業界を巡る信用不安などから、軟調な株式市場が続いていました。2024年に入り、「国家隊」によるETF買い増しや中国政府による景気刺激策の効果から、株式市場は全体として、落ち着いてきております。

国際競争力のある企業、政府の支援の期待される再生エネルギー、環境、輸入代替的な製造企業などを中心に投資を行い、パフォーマンスの向上を目指して参ります。

○ 1万口当たりの費用明細

(2023年2月28日～2024年2月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	121	1.262	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(53)	(0.549)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(63)	(0.658)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	54	0.560	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(54)	(0.560)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	8	0.080	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(8)	(0.080)	
(d) そ の 他 費 用	66	0.684	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(31)	(0.323)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金 の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(15)	(0.151)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(20)	(0.210)	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	249	2.586	
期中の平均基準価額は、9,630円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

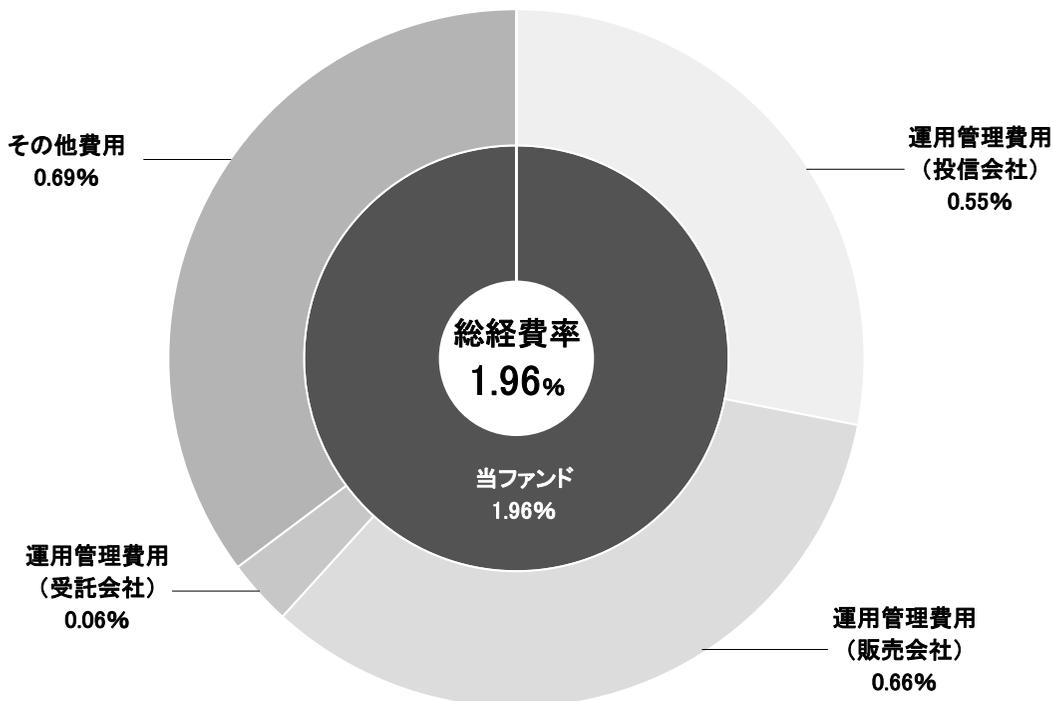
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率(年率)**は**1.96%**です。



(注1) 上記費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年2月28日～2024年2月26日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
SBI中国テクノロジー株・マザーファンド	115,065	112,750	207,875	201,120

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2023年2月28日～2024年2月26日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	SBI中国テクノロジー株・マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	814,739千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	414,767千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.96	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2023年2月28日～2024年2月26日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年2月26日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
SBI中国テクノロジー株・マザーファンド	484,119	391,309	344,156

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

マザーファンドにおける組入資産の明細につきましては、後述のマザーファンドの「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2024年2月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
S B I 中国テクノロジー株・マザーファンド	千円 344,156	% 98.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	4,233	1.2
投 資 信 託 財 産 総 額	348,389	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) S B I 中国テクノロジー株・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産 (331,482 千円) の投資信託財産総額 (348,357 千円) に対する比率は95.2%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1 人民元 (オフショア) = 20.8555 円。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年2月26日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	348,389,745円
コール・ローン等	12,963
SBI中国テクノロジー株・マザーファンド(評価額)	344,156,782
未収入金	4,220,000
(B) 負債	7,238,002
未払解約金	4,198,310
未払信託報酬	2,375,292
その他未払費用	664,400
(C) 純資産総額(A - B)	341,151,743
元本	398,262,794
次期繰越損益金	△ 57,111,051
(D) 受益権総口数	398,262,794口
1万口当たり基準価額(C / D)	8,566円

<注記事項 (運用報告書作成時には監査未了) >
(貸借対照表関係)

期首元本額	489,713,657円
期中追加設定元本額	120,508,201円
期中一部解約元本額	211,959,064円

(注) 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は57,111,051円です。

○損益の状況 (2023年2月28日～2024年2月26日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 1,176円
支払利息	△ 1,176
(B) 有価証券売買損益	△ 58,495,999
売買益	15,865,910
売買損	△ 74,361,909
(C) 信託報酬等	△ 7,058,796
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 65,555,971
(E) 前期繰越損益金	△ 29,060,935
(F) 追加信託差損益金	37,505,855
(配当等相当額)	(27,148,977)
(売買損益相当額)	(10,356,878)
(G) 計(D + E + F)	△ 57,111,051
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G + H)	△ 57,111,051
追加信託差損益金	37,505,855
(配当等相当額)	(27,274,891)
(売買損益相当額)	(10,230,964)
分配準備積立金	13,477,458
繰越損益金	△108,094,364

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(27,274,891円)および分配準備積立金(13,477,458円)より分配対象収益は40,752,349円(10,000口当たり1,023円)ですが、当期に分配した金額はありません。

第4期 運用報告書

(決算日：2024年2月26日)

SBI中国テクノロジー株・マザーファンド

受益者のみなさまへ

SBI中国テクノロジー株・マザーファンドの第4期(2023年2月28日から2024年2月26日まで)の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは、次の通りです。

運用方針	主として、上海証券取引所及び深セン証券取引所等に上場（これに準ずるものを含みます。）されている中国企業の株式のほか、中国の新興市場に上場されている企業の株式にも投資を行います。また、香港や米国の金融商品取引所等に上場されている中国企業の株式（預託証券を含みます。）にも投資する場合があります。
主要投資対象	中国の上海、深セン証券取引所に上場されている人民元建て株式（中国A株）等を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 株式信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		株式組入比率	純資産総額
		期中騰落率		
(設定日) 2020年3月24日	円 10,000	% —	% —	百万円 1
1期(2021年2月25日)	11,933	19.3	89.9	815
2期(2022年2月25日)	12,206	2.3	93.6	649
3期(2023年2月27日)	10,507	△13.9	94.2	508
4期(2024年2月26日)	8,795	△16.3	91.8	344

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しています。

(注3) 株式組入比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式組入比率
		騰落率	
(期首) 2023年2月27日	円 10,507	% —	% 94.2
2月末	10,474	△0.3	94.7
3月末	10,962	4.3	91.9
4月末	10,197	△3.0	95.9
5月末	10,440	△0.6	96.5
6月末	10,811	2.9	94.8
7月末	10,459	△0.5	95.3
8月末	9,993	△4.9	98.4
9月末	9,588	△8.7	91.8
10月末	9,036	△14.0	91.5
11月末	8,950	△14.8	92.2
12月末	8,667	△17.5	95.4
2024年1月末	7,958	△24.3	91.1
(期末) 2024年2月26日	8,795	△16.3	91.8

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 株式組入比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2023年2月28日から2024年2月26日まで）

○基準価額等の推移



当マザーファンドの基準価額は期首10,507円から始まったあと、期末には8,795円となりました。期を通じて騰落率は△16.3%となりました。

	期首	期中高値	期中安値	期末
日付	2023/2/27	2023/4/4	2024/2/5	2024/2/26
基準価額 (円)	10,507	11,350	7,847	8,795

○投資環境

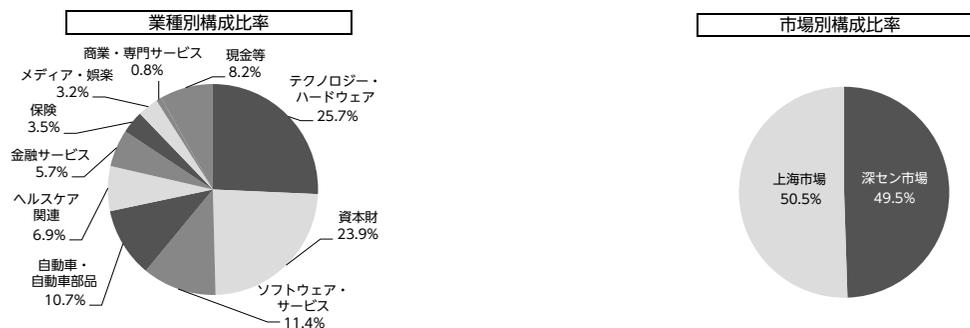
当期の中国株式市場は、下落しました。期初、中国恒大集団が米裁判所に破産法適用を申請したことや、バイデン米大統領が半導体・AIなどの対中投資制限行政命令を発表すると報道から、軟調なスタートとなりました。2023年9月に入り、製造業PMIが市場予想を上回ったこと、住宅ローン規制の緩和などから政策期待が膨らみ、地合いは改善しましたが、上値では利益確定売りがみられるなど横ばいの動きが続きました。20日に、経済協力開発機構 (OECD) やアジア開発銀行 (ADB) が中国の経済成長見通しを引き下げたことで、景気先行不安が強まり、その後、中東情勢の緊迫化、市場予想を下回る消費者物価指数 (CPI)、70都市平均不動産価格の予想以上の下落などの悪材料から、10月中旬まで下落が続く展開となりました。下旬からは、政府系ファンド「国家隊」が株式を購入したとの報道や、中国国債発行によるインフラ整備計画が中国政府から発表されたことなどから上昇に転じ、11月に入っても、米中首脳会談開催への期待や米金利低下、月央に発表された鉱工業生産や小売売上高などの主要統計が上振れしたこと、また、悪い経済指標が発表されると、それに対応する政策への期待がみられ、ゆるやかに上昇し、11月は4か月ぶりに上昇となりました。12月は、人民銀行が公開市場操作を通じて大規模な資金を市中から吸収したことが嫌気され、その後も、米格付け会社ムーディーズの格付け見通しの引き下げ、中東情勢の悪化、小売売上高が市場予想を下回ったことなどから国内景気の先行き不安が高まっていました。2024年1月には、CPIが3ヶ月連続でマイナスとなったほか、新築住宅価格が前月比で大きく下落し、中国資産運用大手の中植企業集団の破産申請、米国で新薬開発における中国系開発会社の利用禁止、トランプ前大統領の中国製品への大幅な関税課税発言、中国AI関連企業による米国クラウドサービスの利用禁止など悪材料が続き、2月初旬に上海総合指数で、当期間最安値をつけるまで大幅な下落となりました。その後、当局による空売り禁止措置の強化、「国家隊」によるETF買い増しの発表など、政府総動員の株価支援を受け反発し、今期を終えました。

当期の為替相場に関しては、米国国債利回り上昇により対ドルで人民元安が10月末ごろまで続きましたが、その後は米国国債利回りが下落に転じ人民元は反発しました。対円では、12月にムーディーズの中国格下げに始まる悪材料から株価下落した時期に人民元安となりましたが、期を通しては概ね人民元高円安となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

上海証券取引所及び深セン証券取引所、創業板上場している銘柄のうち、革新的なテクノロジーやサービスを提供する銘柄に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。当期は、テクノロジー・ハードウェアおよび機器、資本財、自動車・自動車部品関連企業へのシフトならびに銘柄入れ替えを順次行い、また、ソフトウェア・サービスの比率を下げました。銘柄数は、30 銘柄前後を維持しました。銘柄別のリターン寄与度では、ESTUN AUTOMATION CO がプラスに大きく寄与した一方で、南京埃斯頓自動化、中興通迅[ZTE]が大きくマイナスに寄与しました。

なお、決算日時点のポートフォリオについては以下の通りとなっております。



※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※記載の比率は、四捨五入の関係で100%にならない場合があります。

※比率は、マザーファンドの組入株式評価額合計に対する割合です。
※記載の比率は、四捨五入の関係で100%にならない場合があります。

当期末の為替レート

通貨	レート	期首比
	円	%
人民元（オフショア）	20.86	+6.8

※為替レートは、一般社団法人投資信託協会が発表する対顧客電信売買相場仲値を採用しています。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、中国の上海、深セン証券取引所に上市されている人民元建て株式（中国A株）等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

○今後の見通しと運用方針

当期、①米国をはじめ主要国のインフレ抑制のための利上げと各国長期金利の上昇、②米政府による中国企業への規制強化の継続、④経済指標の悪化、③中国不動産業界を巡る信用不安などから、軟調な株式市場が続いていました。2024年に入り、「国家隊」によるETF買い増しや中国政府による景気刺激策の効果から、株式市場は全体として、落ち着いてきております。

国際競争力のある企業、政府の支援の期待される再生エネルギー、環境、輸入代替的な製造企業などを中心に投資を行い、パフォーマンスの向上を目指して参ります。

○1万口当たりの費用明細

(2023年2月28日～2024年2月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売買委託手数料 (株 式)	55 (55)	0.559 (0.559)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (株 式)	8 (8)	0.080 (0.080)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	32 (32)	0.323 (0.323)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	95	0.962	
期中の平均基準価額は、9,794円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2023年2月28日～2024年2月26日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	中国(オフショア)	百株	千人民元(オフショア)	百株	千人民元(オフショア)
		7,279 (500)	18,218 (ー)	9,210	22,372

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ()内は株式分割、予約権行使、合併による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2023年2月28日～2024年2月26日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	814,739千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	414,767千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.96

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年2月28日～2024年2月26日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年2月26日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末		業種等	
	株数	株数	評 価 額		
			外貨建金額		邦貨換算金額
	百株	百株	千円		
TBEA CO LTD-A	—	146	221	4,613	資本財
CHONGQING THREE GORGES-A	330	—	—	—	公益事業
ZTE CORP-A	200	130	331	6,919	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
SAIC MOTOR CORP LTD-A	505	665	990	20,664	自動車・自動車部品
UNISPLENDOUR CORP LTD-A	475	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
DONGFANG ELECTRIC CORP LTD-A	600	—	—	—	資本財
FUYAO GLASS INDUSTRY GROUP-A	—	32	133	2,788	自動車・自動車部品
JIANGSU ZHONGTIAN TECHNOLO-A	—	400	496	10,361	資本財
HUNDSUN TECHNOLOGIES INC-A	230	—	—	—	ソフトウェア・サービス
NARI TECHNOLOGY CO LTD-A	510	443	1,006	20,990	資本財
SHANGHAI BAOSIGHT SOFTWARE-A	—	177	759	15,847	ソフトウェア・サービス
WANXIANG QIANCHAO CO LTD-A	—	260	122	2,564	自動車・自動車部品
FOCUS MEDIA INFORMATION TE-A	—	830	535	11,164	メディア・娯楽
UNIGROUP GUOXIN MICROELECT-A	62	—	—	—	半導体・半導体製造装置
PING AN INSURANCE GROUP CO-A	—	130	572	11,948	保険
TCL ZHONGHUAN RENEWABLE EN-A	110	—	—	—	半導体・半導体製造装置
IFLYTEK CO LTD - A	325	140	648	13,527	ソフトウェア・サービス
SHENZHEN INOVANCE TECHNOLO-A	—	96	582	12,152	資本財
GLODON CO LTD-A	171	—	—	—	ソフトウェア・サービス
GUANGDONG CREATE CENTURY I-A	430	—	—	—	資本財
SUNGROW POWER SUPPLY CO LT-A	85	—	—	—	資本財
UNIVERSAL SCIENTIFIC INDUS-A	—	598	829	17,298	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ACCELINK TECHNOLOGIES CO -A	390	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
BYD CO LTD -A	32	—	—	—	自動車・自動車部品
SIASUN ROBOT & AUTOMATION-A	800	395	427	8,913	資本財
HITHINK ROYALFLUSH INFORMA-A	80	—	—	—	金融サービス
QINGDAO HANHE CABLE CO LTD-A	—	315	115	2,404	資本財

銘柄	期首(前期末)	当 期 末				業種等
	株数	株数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
	百株	百株	千円(オプショ)	千円		
EAST MONEY INFORMATION CO-A	390	679	932	19,448	金融サービス	
NANTONG JIANGHAI CAPACITOR-A	—	124	196	4,091	資本財	
LUXSHARE PRECISION INDUSTR-A	—	267	725	15,123	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
LONGI GREEN ENERGY TECHNOL-A	220	—	—	—	半導体・半導体製造装置	
ZHONGJI INNOLIGHT CO LTD-A	—	25	369	7,702	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
GUANGZHOU AUTOMOBILE GROUP-A	523	—	—	—	自動車・自動車部品	
LONGSHINE TECHNOLOGY GROUP-A	200	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
SANGFOR TECHNOLOGIES INC-A	30	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
CONTEMPORARY AMPEREX TECHN-A	26	56	905	18,878	資本財	
BETHEL AUTOMOTIVE SAFETY S-A	—	89	513	10,713	自動車・自動車部品	
SUZHOU MAXWELL TECHNOLOGIE-A	13	—	—	—	資本財	
HOYUAN GREEN ENERGY CO LTD-A	50	—	—	—	資本財	
WILLFAR INFORMATION TECHNO-A	—	127	377	7,874	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
SHANGHAI BOCHU ELECTRONIC-A	—	32	852	17,781	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
CHINA SUNTIEN GREEN ENERGY-A	659	—	—	—	エネルギー	
SHENZHEN NEW INDUSTRIES BI-A	—	153	1,133	23,644	ヘルスケア機器・サービス	
ZHUZHOU CRRC TIMES ELECTRI-A	135	—	—	—	資本財	
SUPCON TECHNOLOGY CO LTD-A	90	183	756	15,767	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
ESTUN AUTOMATION CO LTD-A	280	—	—	—	資本財	
GUANGZHOU GREAT POWER ENER-A	48	—	—	—	資本財	
ZHEJIANG WEIMING ENVIRONME-A	—	75	132	2,757	商業・専門サービス	
THUNDER SOFTWARE TECHNOLOG-A	83	83	472	9,852	ソフトウェア・サービス	
合 計	株数・金額	8,083	6,652	15,142	315,796	
	銘柄数<比率>	31	27	—	<91.8%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率です。

(注3) 株数・評価額の単位未満は切捨て。ただし、株数が単位未満の場合は小数で記載。

○投資信託財産の構成

(2024年2月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 315,796	% 90.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	32,561	9.3
投 資 信 託 財 産 総 額	348,357	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建て純資産(331,482千円)の投資信託財産総額(348,357千円)に対する比率は95.2%です。

(注3) 外貨建て資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。なお、2月27日における円換算レートは、1人民元(オプショ) = 20.8555円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年2月26日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	348,357,766円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	32,560,928
株 式 (評 価 額)	315,796,838
(B)負 債	4,220,050
未 払 解 約 金	4,220,000
未 払 利 息	50
(C)純 資 産 総 額 (A - B)	344,137,716
元 本	391,309,588
次 期 繰 越 損 益 金	△ 47,171,872
(D)受 益 権 総 口 数	391,309,588口
1万口当たり基準価額 (C / D)	8,795円

<注記事項 (運用報告書作成時には監査未了) >
(貸借対照表関係)

期首元本額	484,119,714円
期中追加設定元本額	115,065,162円
期中一部解約元本額	207,875,288円
期末における元本の内訳	
S B I 中国テクノロジー株ファンド	391,309,588円
(注) 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は47,171,872円です。	

○損益の状況 (2023年2月28日～2024年2月26日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	4,157,272円
受 取 配 当 金	4,176,503
支 払 利 息	△ 19,231
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△ 78,901,407
売 買 益	69,020,788
売 買 損	△ 147,922,195
(C)そ の 他 費 用	△ 1,411,669
(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 76,155,804
(E)前 期 繰 越 損 益 金	24,543,806
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	△ 2,315,162
(G)解 約 差 損 益 金	6,755,288
(H) 計 (D + E + F + G)	△ 47,171,872
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	△ 47,171,872

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。